

南さつま地区神戈陵会報告

平成26年度南さつま地区神戈陵会が、7月12日（土）の18時30分から、今村勝徳さん（S39年卒）が経営するレストランブルドックで開催されました。本部同窓会から大坪憲市同窓会会長（S41年卒）、本校から小屋敷浩昭校長、橋口浩二郎教頭、畦地茂行事務長と同窓会係の中尾龍二（S52年卒）・渡辺裕介が出席しました。

上野寿郎さん（S50年卒）の司会で第一部の全体会は進行し、亡師亡友への黙祷の後、南さつま地区神戈陵会恒例の新旧校歌斉唱を行いました。続いて、上東書三南さつま地区同窓会会長（S36年卒）が、急逝された事務局長の木場正英さんの後を中馬悟さん（昭和53年卒）が引き継いでくれて感無量の感があり、まだ木場さんが生きていたような思いがするとあいさつの中で語りました。その後、大坪同窓会会長が同窓会の活動状況について、快進撃を続けている野球部の活躍（薩南工業・薩摩中央ともに完封勝ち）に触れながら、魅力ある学校にするためには何でもすぐに実行すると話されました。小屋敷校長先生からは学校の現況として、各地区の同窓会や地域の方々を含めて有形無形のご協力をいただいていることへの感謝を述べ、今後とも存在感のある学校を目指したいとあいさつされました。

第一部終了後は、西浩二（S48年卒）幹事長の司会で懇親会が始まりました。和やかで賑やかな語らいの場は定刻を過ぎても続き、親睦をさらに深めることができました。また、全国大会に出場するなぎなた部や全国高等学校総合文化祭に出場する音楽部への募金が当日集められ、校長に寄贈されました。有効に使わせていただきます。

最後に、楽しい語らいの場を提供していただき、誠にありがとうございます。南さつま地区神戈陵会の今後の益々のご発展を祈念申し上げて、ここに報告いたします。

あいさつする上東会長



募金を贈呈された小屋敷校長と大坪同窓会会長



飲む前に行われる恒例の校歌斉唱と記念撮影

